ハイナイト プレイヤー・レター

2023年のビジョン

主のくびきを負い 安らぎを得る

すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。……あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。（マタイ 11:28～30）

2023 5 月号

1. イスラエルの分断と国内外からの攻撃を覚えて

建国75周年を迎えたイスラエル。お祝いムードと対象的に、「建国以来の危機だ」と発言する人もいます。国外の敵との戦いではなく、ユダヤ人同士の対立のためです。

イスラエルは、ユダヤ教を実践しない世俗派の人たちによって建国されました。けれども、ユダヤ教超正統派を手厚く保護し、徴兵制の免除や生活保護などで優遇してきました。そのため、世俗派の人々は、不公平感と経済的負担を感じていて、両者の溝はかなり深いと言われています。

そして、昨年末に第6次ネタニヤフ政権が発足しました。ネタニヤフ首相のリクード党の他に、数多くの宗教政党と連立を組みました。連立に入っているのは、超正統派の他、アラブ人や他宗教に強硬な姿勢を見せる宗教右派です。

分断に拍車をかけたのが、ネタニヤフ政権が進めている「司法制度改革」です。これは、国会が司法に対して、より強い影響を及ぼせるように、最高裁の権限を制限しようとする改革です。

反対している世俗的左派と言われる人々は、「民主主義の放棄だ」と十万人規模のデモを展開。デモのために社会的機能が麻痺しかねない状況も起こりました。深刻なのは、軍隊の中でボイコットを表明する人々が出たことで、国の安全保障上の問題となりかねません。一方、4月27日は、司法制度改革支持を訴える人々、20万人が集まるデモが行われました。

こうした中、イランの最高指導者が、イスラエルの分断を嘲笑する発言をし、イスラエルを攻撃しています。4月の過ぎ越しの期間、神殿の丘で暴動が続き、ガザ地区とレバノンから同時期にイスラエルに向けてロケット弾が発射されました。背後でイランが関与したとされています。

今月19日は、六日戦争で、エルサレムが2千年ぶりにユダヤ人に戻ったことを記念する「エルサレム・デー」です。この日、ユダヤ人とパレスチナ人、またユダヤ人同士の対立も懸念されます。

国内外から攻撃に直面する中、主がイスラエルを一つにしてくださるよう祈りましょう。

建国75周年を迎えたイスラエル　分断の危機を乗り越えられるように!

わたしが彼らを、その地、イスラエルの山々で一つの国とするとき、一人の王が彼ら全体の王となる。彼らは再び二つの国となることはなく、決して再び二つの王国に分かれることはない。（エゼキエル37:22）

❶「あなたの隣人を自分自身のように愛し合いなさい」とする主の命令を実践し、分断がとどめられるように。
❷ネタニヤフ首相が主により頼み、内外の危機に対処するための天からの知恵を授かることができるように。
❸イスラエルの人々が分断の危機を乗り越えて、一致して神を呼び求めることができるように。

2. 日本の教会の主にある一致のために

今、社会に分裂が起きている国が増えています。祈祷課題1でも取り上げたように、その波はイスラエルにも到達しました。日本ではまだ目立った分裂は見えませんが、その兆候は見え隠れしています。

各国の社会の分裂について、イギリスの公共放送BBCが2018年に調査を実施。日本を含む27カ国の約2万人が回答し、76%の人が「自国の社会が分裂している」と答えました。

多様性が叫ばれる中、異なる意見を持つ人への寛容さが失われつつあります。

最近では、子どもの声がうるさいという市民からの苦情で、公園が廃止された地域もあります。公園の継続を願う市民の声は届きませんでした。こうした事態を受け、政府は「子どもの声は騒音ではない」と、法律で定めることも視野に入れています。性的マイノリティやワクチン、環境問題など、考え方の違いが、時に対立を生むこともあります。

このような時代にあって、クリスチャンも、教会の内外で、意見の食い違いに直面することがあるかもしれません。しかし、キリストのくびきを負う時に私たちは一つになることができます。教会が一致を保ち、たましいの救いのために共に働けるように。イエスさまが死の直前に祈ったこの祈りを覚えて祈りましょう。

父よ。あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちのうちにいるようにしてください。あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるようになるためです。（ヨハネ17:21）

❶日本の教会が、キリストのくびきを負って一致を保ち、分裂から守られるように。
❷キリスト教会が、たましいの救いのために協力し合うことができるように。
❸クリスチャンが互いに愛し合う姿を見て、多くの日本人が真の神に立ち返ることができるように。

3. エチオピアからの帰還者支援を覚えて

エチオピアには、「神がモーセに命じて、エジプトから民を救い出したように、自分たちもイスラエルに連れ出してくださる」と純粋な信仰を持つユダヤ人たちがいます。次期CEOピーター・ファストのレポートをご覧ください。

映像はこちら ▶▶▶
https://youtu.be/pmAl0e-FQE8

ピーター・ファスト（次期CEO）とエチオピアのユダヤ人たち

『主よ、あなたの民を救ってください。イスラエルの残りの者を。』（エレミヤ31:7b）

❶帰還を望むすべてのエチオピア系ユダヤ人の帰還のための必要が満たされるように。
❷帰還したエチオピア系ユダヤ人たちが文化の差を乗り越え、イスラエルの地に、根を張ることができるように。
❸世界中から帰還するユダヤ人、そして支援するクリスチャンの姿を通して、生きた神が全世界に証しされるように。

「ハイナイトソング」
視聴・譜面のダウンロード ▶▶▶
https://www.bfpj.org/music/

「ハイメール通信」
祈りの第一声として
祈祷課題をお届けします（不定期） ▶▶▶
https://www.bfpj.org/pray/chaimail/form/

特定非営利活動法人 B.F.P.Japan（ブリッジス・フォー・ピース）
〒182-0001 東京都調布市緑ケ丘2-40-22 TEL：03-5969-9656 FAX：03-5969-9657 URL: www.bfpj.org
ハイナイトに関するお問い合わせ：chainight@bfpj.org